

## 一ノ瀬ワタルさんが余貴美子さんの息子役で初登場！

本物の親子のような照れくさい表情ややりとりにも注目！  
不器用ながらも互いを想う親子が老後の住まいを考えます。

## 60歳からの住宅ローン【リ・バース60】新テレビCM

～ 令和7年5月1日(木)から全国で放映開始 ～



「母ちゃん、家直せよ。」「あんたもないし、どうでもいいよ」

「どうでもよくないよ。話そうよ。」

独立行政法人住宅金融支援機構（本店：東京都文京区、理事長：毛利 信二）は、リバースモーゲージ型住宅ローン【リ・バース60】の提供を通じて、ご高齢のお客さまが快適に安心して暮らすことができる住環境の整備に取り組んでいます。

新しいテレビCMでは、これまでもイメージキャラクターを務めていただいている余貴美子さんの息子役として一ノ瀬ワタルさんが初登場。独立して家庭を持った息子に負担はかけたくないと、古く不便になった家を修理せずに過ごす親。親のことを心配しながらも、自分の生活もあり、うまく手を差し伸べられない息子。そんな不器用な親子が向き合い、老後の住まいを考えます。

毎月のお支払いは利息のみ<sup>\*</sup>。年金収入の方にも多数ご利用いただいている【リ・バース60】は、そんな親子の選択肢の1つです。

<sup>\*</sup>元金は、ご契約者さまが亡くなられたときに、相続人の方から一括してご返済いただくか、担保物件の売却によりご返済いただきます。

新テレビCMは、令和7年5月1日(木)から全国で放映いたします。

また、新テレビCMおよびメイキング動画を、同日から住宅金融支援機構公式YouTubeチャンネルで公開します。是非、ご覧ください。

URL : <https://youtube.com/@jhf.2007>



本リリースに関するお問い合わせ先

住宅金融支援機構 経営企画部広報グループ 長岡／熊谷／内藤／木下 TEL 03-5800-8019

住宅金融支援機構ホームページ <https://www.jhf.go.jp>

## 新テレビCMカットシート (30秒)



## 新テレビCMストーリー

独立して家庭を持った息子に負担はかけたくないと、古く不便になった家を修理せずに過ごす親。親のことを心配しながらも、自分の生活もあり、うまく手を差し伸べられない息子。互いのことを思い合っている、普段なかなか腹を割って話せない、そんな親子が、白背景の世界で本音を伝え合います。大人になってちょっと距離ができ、よそよそしくなってしまった親子が、心の会話を通して再び心の繋がりを取り戻す様を描いています。

## 撮影エピソード

ドラマ撮影以来の再会となったお2人の撮影は息ぴったり。撮影の合間も、近況などのトークに話が弾み、和気藹々とした現場でスムーズに撮影が進みました。メイキングにはそんなお2人の笑顔が詰まっています。

## 余貴美子さん×一ノ瀬ワタルさん インタビュー

### ◆ CM共演の感想は？

一ノ瀬さん：(前に共演したドラマとは) 全然別の世界線の親子で、すごい仲の良い親子でしたから楽しかったですね。

余さん： 本当にね。全く別の世界観の親子を演じることが出来て、面白かったですね。ちょっと照れくさかったですよね。家族はひとつの形にとどまりませんからね。幸せの形も生き方も、それぞれ違いますから。またこういう親子関係が出来て(よかったです。)

### ◆ 今回のCMの親子をどう思いましたか？

一ノ瀬さん： 俺も今、母ちゃんと2人でご飯行けと言われたら、ちょっとやっぱり恥ずかしいって思っちゃったです。16の時に家出ちゃったから、母ちゃんとなかなか会ってなかったから、この前2人でご飯。ちょっと恥ずかしいってなっちゃいました。でも話すことってやっぱり大事ななと思いました。

## 出演者プロフィール



### <余 貴美子(よ きみこ)>

1956年5月12日生まれ。神奈川県横浜市出身。

劇団活動と並行し、徐々に映画・TVドラマへと活動の場を広げる。

08年度、毎日映画コンクール田中絹代賞を受賞したほか、「おくりびと」(08)、「ディア・ドクター」(09)、「あなたへ」(12)で日本アカデミー賞最優秀助演女優賞を三度受賞するなど受賞歴多数。

19年には紫綬褒章を受章している。

TVドラマでは「ちゅらさん」(01)、「半分、青い。」(18)などのNHK連続テレビ小説や大河ドラマ「龍馬伝」(10)に出演したほか、「新宿野戦病院」(24)、「家政夫のミタゾノ」シリーズなど数多くの連続ドラマにも出演している。

また、NHK「ファミリーヒストリー」で長年ナレーターを務めるなど声の出演も多く、活動は多岐に渡っている。

Netflix「サンクチュアリ-聖域-」(23)で一ノ瀬ワタルと親子役で共演。

現在は5月16日から上演される舞台「家政夫のミタゾノTHE STAGE レ・ミゼラ風呂」の公演を控えている。



### <一ノ瀬ワタル(いちのせ わたる)>

1985年 7月30日生まれ。佐賀県出身。

幼い頃から格闘家を目指し、中学卒業と同時に上京。その後単身タイに渡り、ムエタイジムで2年間修業する。

帰国後に三池崇史監督と出会い、「クローズZERO II」(09)へ出演し、役者の道へ転向。

現在に至る。

初主演作品である Netflix オリジナルドラマ「サンクチュアリ-聖域-」が 2023 年世界ランキング 6位。余貴美子と親子役で共演。

出演作にNHK 連続テレビ小説「おむすび」、映画「キングダム」(19)、「少年と犬」(25)など多数の作品に出演。

2025年4月1日スタートのTBSドラマ「対岸の家事〜これが、私の生きる道!〜」では朗らかな優しい主人公の夫・虎朗を演じている。

またNetflix「イクサガミ」が2025年11月配信予定。

## 音楽

アーティスト UNIDOTS 楽曲「wake up」

## 制作スタッフ

<TVCM>

Creative Director : 松井正徳(CreativeScience) Producer : 加藤 稜(ONE PUNCH) Producer : 木村 裕馬(OpusFilms)

Line Producer : 石田 保了(OpusFilms) Assistant Producer : 岡崎 太郎(OpusFilms) Director : 野村 友佳子

Cinematographer : 三浦 隆太(OpusFilms) Lightning Designer : 土井 立庭 Stylist : 犬走比佐乃 ※余貴美子

Hair make : 丸山智路 ※余貴美子 Stylist : 皆川bon美絵 ※一ノ瀬ワタル Hair make : 星野加奈子 ※一ノ瀬ワタル

Offline Editor : 中東 俊典(フリーランス) Colorist : 大鹿 有紀(SoundCity) Online Editor : 岩崎 倫洋(SoundCity)

Sound Engineer : 川島 択斗

<グラフィック>

Art Director : 佐溝 知代(博報堂プロダクツ) Designer : 赤羽 奈緒(博報堂プロダクツ)

Producer : 星美 津穂 Photographer : 岩切 浩三郎

## 【リバース60】とは

- 【リ・バース60】は、住宅金融支援機構と提携している民間金融機関が提供する60歳以上の方向けのリバースモーゲージ型住宅ローンです。
- ご自宅のリフォーム、戸建住宅の建設、マンションの購入、住宅ローンの借換え等、住宅に関する様々な資金使途に利用可能です。
- 融資限度額は、担保評価額（住宅及び土地）の50%又は60%です。ただし、8,000万円以下で、所要資金以内です。
- 毎月のお支払は利息のみ。元金はお客さまが亡くなられたとき(※)に、以下のいずれかの方法により返済していただきます。
  - (1) 相続人の方が、自己資金等により一括して返済
  - (2) 担保物件（住宅及び土地）の売却代金により返済※連帯債務で借入れをされた場合は、主債務者及び連帯債務者が共に亡くなられたときとなります。

